

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 479 号	氏名	津守 陽子
学位審査委員	主査 有吉 紅也 副査 中込 治 副査 平山 謙二		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、アフリカ大陸において都市化が、熱帯熱マラリア原虫集団に与える遺伝的影響を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 コンゴ共和国の都市部と郊外の診療所を訪れた患者 2 群を対象に、PCR 法やマイクロサテライトマーカーを用いて <i>msh1</i> 遺伝子多型を決定し、各種集団遺伝学的指標を算出し、また、シーケンス解析により薬剤耐性アレル頻度を比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、都市部と郊外に流行するふたつの原虫集団は、高い遺伝的多様性を保持しながらも、ひとつの集団を作っていることが判明し、都市化は、マラリア原虫集団の遺伝構造に影響しないことが示唆された。また、都市部に比べて郊外において薬剤耐性マラリアの頻度が有意に高く、薬剤耐性マラリアを最小限に抑えるためには、郊外において適切な治療を徹底することが重要であると考えられた。</p> <p>以上のように本論文はアフリカにおけるマラリア対策に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			